

# FMアップルウェーブ 第100回放送番組審議会

**開催日時** 平成28年10月15日(土) 12:00~13:00

**開催場所** 土手町コミュニティパーク地域交流室(弘前市土手町)

**出席委員** 委員長 石岡 徹、委員 鳴海 清彦、太田 眞理子、高村 智子、大西 晶子、櫻山 史子

**会社側出席者** 代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、取締役:倉田 昌直  
放送部統括マネージャー:花田 由香子 チーフ:玉田雅規

**議 題**  
(1) 番組に対する意見要望  
(2) 次回開催日について 12 月 13 日(火)

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進化した。

## 1) 課題番組 『弘前ねぶたまつり2016』(8月1日2日 19:00~)

- ① お囃子の生の音声と、事前録音のインタビューとのバランスがとても良い。生放送のバタバタもなく、落ち着いて進行していた。会場で当日放送を聴いていたが、緊急車両のアナウンスはとても良い情報だった。受賞団体の発表もわくわくして聴いていた。今後も続けてほしい番組。
- ② バランスの良い構成の番組。誰に向けて放送しているのかを明確にして放送しなければならない。観光客優先席について触れていたが、利用対象や料金などもっと情報を詳しく伝えるべきだった。一部のスポンサーのみが紹介されるようなインタビューは避けるべき。
- ③ インタビューを事前収録することで出演団体の人たちが放送を知ることができるという点や、通常放送のプログラムの変更をアナウンスしていたこと、交通規制を案内していたことなどがとても良い。外国人観光客への英語でのインタビューはしっかりした文法で。誤った英語表現は放送してはならない。
- ④ 冒頭同じフレーズを2度言っていた。構成もしっかりしており、各団体の紹介や、運行の様子、受賞者インタビューもとても臨場感があった。見ながら聴いてもよいし、見られないところで聴いても楽しめそう。
- ⑤ 埼玉在住の親戚に聴かせたらとても喜んでいて、だんだんねぶたが近づいている距離感も伝わり、その場にいるような感覚になれた。各団体の紹介は、パーソナリティがアナウンスするのではなく、絵師や制作に携わった人が話すことで思いが伝わる。
- ⑥ 団体(絵師)のコメントがあるのがとても良い。パーソナリティの興奮状態など生放送ならではの熱量も伝わってよい。英語ができないなら無理して話すべきではないが、ツッコミでフォローしていたのはよかった。現地で聴いても、家で聴いても、どちらでも楽しめるような番組にしていってほしい。
- ⑦ ねぶたや土手町運行などの歴史についても触れてもよかったのでは。進行が遅れて時間が空くときなど、ねぶたに関するいろいろな話題を盛り込んでほしい。新しい試みの番組、ぜひ続けていってほしい。

## 議事の概要

### 【審議機関の答申または改善】

県外の人にねぶたを知ってもらえる、感じてもらえる番組。インターネットサイマル放送や、動画サイトアップルストリームでの配信ともリンクし、可聴エリア外の方にも聴いてもらえる工夫を。

### 【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載